

# 第三中学校・第十中学校統合委員会 要 点 記 録

## 第 2 回

開 催 日 時	平成 27 年 9 月 4 日(金) 午後 6 時 30 分～8 時 20 分	
開 催 場 所	第十中学校 ガイダンスルーム	
出席者	委 員	小野光、岸哲也、荻野嘉彦、前田純子、中村美恵、 佐々木直巳、村上昌子、神山知明、澤野ゆり、神谷真美、 五十川由紀子、伊藤由香里、齊藤久、弓田豊、辻成一郎、 板垣淑子、浅野昭  (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
会 議 次 第	<b>【議事】</b> 1 第十中学校校舎及び周辺の視察について 2 統合新校の校舎改築について 3 その他	

### 第 2 回 第三中学校・第十中学校統合委員会 会 議 要 旨

委員長

これより第2回の統合委員会を開会する。  
今のところ傍聴者はいないとのことである。

#### 1 議 事

##### 議事(1)第十中学校校舎及び周辺の視察について

委員長

最初に第十中学校校舎及び周辺を視察する。第十中学校の施設台帳図面が配付されているので参考にしてもらいたい。

— 施設見学 —

委員長

施設見学をすることで、いろいろな考えがうかんできたと思う。これをこれからの協議にぜひ生かしてほしい。

質問や意見もあると思うが、次の議事も関連する内容のため、質疑は次の議事でまとめて行うこととしたいがよろしいか。

— 異議なし —

##### 議事(2)統合新校の校舎改築について

## 委員長

統合新校の校舎改築について、子ども教育施設担当の説明を求める。

■「中野区立小中学校施設整備計画」と「新校舎を整備する第十中学校の敷地の状況等」について子ども教育施設担当より説明

(概要)

### ◎中野区立小中学校施設整備計画

中野区立小中学校再編計画（第2次）に基づき、学校再編に伴う大規模改修・改築を着実に進めていくとともに、再編対象校以外の学校も含め、全区立小中学校の施設整備を計画的に進めていくことを目的とした計画。

※詳細は、中野区教育委員会ホームページ「中野区立小中学校施設整備計画」を参照。

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/655000/d018255.html>

### ◎新校舎を整備する第十中学校の敷地の状況等

#### ■敷地の状況

【住居表示】中野区中央1-4-1-1

【敷地面積】10,052㎡

【隣地・接道状況】

北側：幅員約3.6mの区道（一方通行）と接している

東側：幅員約9.7mの都道及び民家と接している

南側：民家と接している

西側：幅員約40.0mの都道（山手通り）及び幅員約4.0mの区道（一方通行）、民間駐車場と接している

【土地形状】南北に約120m、東西に約88mのほぼ長方形の土地となっている

【交通状況】東京メトロ丸の内線、都営地下鉄大江戸線「中野坂上駅」の最も近い出口からは約60mである

#### ■用途地域・地区等

【西側都道道路境界から30m以内】

用途地域：近隣商業地域

建ぺい率／容積率：80％／400％

防火地域：防火地域

高度地区：指定なし

日影規制：なし

【上記以外】

用途地域：第1種中高層住居専用地域

建ぺい率／容積率：60％／200％

防火地域：準防火地域

高度地区：第2種高度地区

日影規制：敷地境界線から5mを超え10m以内の範囲＝3時間

敷地境界線から10mを超える範囲＝2時間

※路線式指定のうしろ10mは、それぞれ5時間、3時間

（測定水平面はいずれも平均地盤面からの高さ4m）

## 委員長

施設見学をし、そのあと中野区立小中学校施設整備計画と新校舎を整備する第十中学校の敷地の状況等についての説明を受けたが、質問や意見、感想などはあるか。

## 委員

技術室は木工室と金工室を共用し、家庭科室は調理室と被服室を共用することで1室とすると

のことだが、技術科のほうはともかくとして、家庭科のほうは不安を感じる。回数は少ないとしても裁縫をやった部屋で調理実習をするということになる。教員が安全管理をきちんとすれば大丈夫だと言われてしまえばそれまでだが、私は少し不安に思う。

子ども教育施設担当

あくまでも一つの考え方として標準仕様を示している。このくらいの規模のものを用意するというものなので、必ず標準仕様で示しているとおりにするというではない。今後、いろいろな形の提案を協議していくことはできると思う。

委員長

全体のコマ数というのは決まっているということか。

子ども教育施設担当

標準仕様では、約7,700㎡としている。

委員

地域特性を生かし、特色ある学校づくりを推進しつつ、標準仕様を定めると書いてあるが、その地域特性というのは、例えば立地条件を加味したようなことと理解していいのか。

子ども教育施設担当

そのように理解してもらってよい。

委員

この辺りは結構騒がしいなと思っているが、窓を見ても、特に防音の窓が入っているわけでもなく、音楽室も窓ガラス1枚だった。また、これからのことを考えると体育館も防音性が必要ではないかと思う。

子ども教育施設担当

学校の建っている場所や、土地の状況があるので、そういったことも踏まえた検討を進めていきたい。

委員

実際に十中では騒音が気になるようなことはあるか。

委員

通常は気にならないが、山手通り、青梅街道が近いので、緊急車両が走ったときは騒がしくて授業にならないようなこともある。防音の対策は十分にしてほしいと思う。

委員長

ほかに意見はあるか。

委員

防音の対策も必要だが、山手通りと青梅街道は日中の交通量が多い道路なので、大気汚染の対策も必要かもしれない。NO<sub>x</sub>とか、今中国で話題になっているPM2.5とか、空中の浮遊物の観測はしているのだろうか。現在も授業をやっているわけだが、校庭の大気の状態は健康的にはどうなのだろうかと思う。これまでに測定した結果がどこかにあるのであれば公開してほしい。もし測定していないのであれば、詳細設計に入る前に1回やったらどうかと思う。

それと、騒音や大気のことを考えると、校舎の設置位置とか、窓枠などはどうするのかなど考えていかなければならない。また、窓が開けられないのであれば、空調をフル稼働する学校にするだとか、いろいろと考えなければならぬ。

子ども教育施設担当

大気汚染測定結果について確認していきたい。もし、データがないようであれば、どのようにするのか検討したい。

委員長

大事なことなので、しっかりと対応してほしい。ほかに意見はあるか。

委員

十中は、校庭が山手通りに面していて、そこで子どもたちは運動している。建て替えの時は、山手通り側を校舎にして裁判所通り側を校庭にしたらどうだろうというように考えている。

子ども教育施設担当

校舎や校庭の配置については、どのようにすれば一番望ましいのか、今後の協議の中で決めていきたい。

委員

今の形にこだわらずに、ベストな位置をみんなで考えていきたい。

委員

学校は避難場所にもなるし、地域でも使わせてもらっているので、体育館はもうちょっと広めにしてもらえるといいなと思う。また、災害時には、十中は立地条件から帰宅困難者も多く集まるだろうし、拠点医療救護所を設置する避難所でもある。そういう面でも広い部屋があるとすごくいいなと思う。それに体育館は学校開放で使用することもあるので、動線を生徒としっかりと分けて、そこにも管理人を配置できたらいいと思う。

委員

三中も拠点医療救護所を設置する避難所であり、統合したあと避難所はどうなるのか住民としては心配がある。学校は災害拠点としての役目を期待されてもいるので、区の防災の部署とのすり合わせはどうなっているのか気になる。

子ども教育施設担当

避難所という役割が三中にも十中にも当然あるので、統合後はどのようにしていくのか、防災の部署とすり合わせをしていくことになる。

委員

そういうことを加味した上で、校舎の設計であるとか、どちら側からどういうふうに物資を搬入するのかということも検討していくということではいいか。

子ども教育施設担当

そういった動線の計画や、どこにどのような部屋を設けるかということは、今後検討していくことになる。

委員

学校としては教育活動がやりやすい施設にしたいと考える。最近では中野中が新しく新校舎でスタートしているが、中野中のいいところや、こうしたほうがよいということもあると思うので、そういった反省を生かして新校舎はなるべくメリットが多い学校をつくっていきたい。

委員長

日常的な教育活動がきちんとできることは当然のことだと思う。

委員

基本的に十中は何階建てになりそうなのか。

子ども教育施設担当

一般的には、中学校だと4階建てぐらいが多いが、事情によってはもっと高く建てている学校もある。

委員

例えば、5階建てになった場合、エレベーターを設置することは可能か。

子ども教育施設担当

エレベーターの設置は検討していきたいと思う。

委員

中野中の話になるが、職員室が1階なので、先生が5階まで上がって授業をすることもある。5階まで階段を上って行くと時間もかかるし、何か職員室に用事がある場合は1階まで下りて、また上まで上がらなければならない。職員室を何階にするのかだとか、教室の構造をどうするかだとか、先生や生徒に負担がかからないように考えていきたい。

子ども教育施設担当

教室の配置については、いろいろな意見があると思うので、出てきた意見を参考に検討していきたい。

委員長

ほかに何かあるか。

委員

中野中ではプールを一般開放しているが、統合新校ではそういった予定はあるのか。中野中は九中で温水プールを開放していたという流れからだとは思いますが。

子ども教育施設担当

統合新校では今のところそういう予定はない。

委員

防災機能は別として、学校、教育施設のみで整備するということか。

子ども教育施設担当

容積率に余裕があるので、もう少し空間を利用することも考えられないわけではない。学校だけにするのかどうか考える余地はあると思う。

委員

敷地を分割してほかの建物を建てるだとか、そういう可能性もあるのか。

子ども教育施設担当

十中の場所で敷地分割をすれば、校庭が今よりも狭くなってしまいう可能性が高いので、敷地分割はしないほうがよいと考えている。校庭は最低でも今の広さは確保したい。

学校再編担当

子ども教育施設担当から少し話がでたが、学校だけではなく、他の施設も入れた形で建てられないかということもひとつ視野に入れて検討している。

そういったこともあり、今年度中を予定していた基本構想・基本計画の策定の時期を来年度まで延ばし、協議時間を十分に確保していきたいと考えている。そのために基本構想・基本計画の策定支援の委託経費を来年度に繰り越すという提案を区議会にしていくことになったので報告させてもらう。

ただ、区としては、統合新校の校舎になるということを第一に考えて検討を進めていき、仮に他の施設を併設するという事になった場合も、学校にふさわしいものにしたいというふうに考えている。

現在のところ、学校以外の何かを入れるのか、入れないのかということも決まっていない状態ではあるが、情報提供させていただく。

委員長

ほかに意見等はあるか。ないようなので次の議事に移る。

### 議事(3)その他

委員長

その他に入る。前回の協議で資料の修正があった「第三中学校・第十中学校統合委員会の運営について」事務局から報告がある。

事務局

前回の協議で、統合委員会ニュースの配付先に、指定校が統合前の十中になる桃園小と向台小の現在の5・6年生を加えるということになったので修正後の資料を配付する。

■「第三中学校・第十中学校統合委員会の運営について」の「5. 活動の広報」について、事務局より修正箇所を説明

(修正後)

#### 5. 活動の広報

統合委員会の開催状況等を、必要に応じて「統合委員会ニュース」として取りまとめ、以下の方法により広報する。

(1) 学校を通じ、関係小・中学校の保護者へ配付

(第三中・第十中、桃園第二小・塔山小・谷戸小・桃花小・白桜小、桃園小・向台小)

の統合前の第十中学校が指定校となる学年)

- (2) 中野区教育委員会ホームページに掲載
- (3) 関係町会・自治会に回覧を依頼（別途依頼予定）
- (4) 関係区民活動センターで窓口配布  
（東部・鍋横・桃園・昭和・東中野）

※下線部分を加筆

委員長

修正内容についてはよろしいか。

特に意見はないようなので、最後に次回の開催について日程調整を行う。

— 日程調整 —

委員長

日程調整の結果、第3回は11月5日木曜日午後6時30分から第三中学校で開催する。詳細は開催通知で確認をお願いしたい。

本日の統合委員会はこれで終了する。